

平成24年度 消防本部 経営計画書



部署名	消防本部
役職・氏名	消防長 柴田 佳明

消防本部 経営方針

● 部の使命
 「市民の生命、身体及び財産を災害などから守る」ことを基本に、第2次瀬戸内市総合計画に基づき「防災体制が整った、災害に強いまち」づくりに積極的に取り組みます。市民の皆さんと連携を図り、大規模災害対策や地域を含めた総合防災力の充実強化に努めます。

- 部の基本方針
- ① 防災意識の高いまちを目指して、消防体制の充実強化を図ります。
 - ② 防災意識の高いまちを目指して、市民の防災意識を高めるとともに、地域防災力の向上を図ります。
 - ③ 質の高い医療が受けられるまちを目指して、救命処置ができる市民を増やします。

● 平成24年度 部のスローガン 一丸となって地域を守る

部署内経営資源

構成人員	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	618,252 千円 (515,238)千円
	69人		69人		

消防本部 重点事項

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況
1 災害対応体制の充実	各種災害及び大規模災害時の活動マニュアルの作成及び見直しを進めます。 アナログ無線の使用期限を踏まえ、消防・救急無線のデジタル化の整備検討を進めます。	各種災害時の活動マニュアル作成により減災の実現 今年度実施設計を行い、平成25年度からの整備着手	目標としたマニュアル作成、見直し率50%。 実施設計は順調に進展し、平成25年度から整備予定。	目標としたマニュアル作成、見直し率80% 実施設計完了 平成25年度整備工事
2 隊員の現場対応能力の向上	災害形態が複雑多様化する中、よりハイレベルな現場活動を実施し、被害の軽減を図るため事後検証と想定訓練を重ね、隊員のスキルアップに努めます。	迅速、確実な行動と災害活動時間の短縮	普段実際起こり得る災害を想定し、繰り返し反復訓練を実施し迅速確実性が向上した。	現場活動を数字では表せないが、迅速、確実並びに防御活動の効率は向上している。
3 消防体制の充実	消防団活性化検討委員会の答申を踏まえ、整備計画に取り組みます。消防団の個人活動用装備を充実します。	今年度中に整備計画を策定 装備 ヘッドライト 160個 救命胴衣 46着 拡声器 33個	消防団活性化検討委員会答申書を市長に提出した。左記装備を配備した。進捗率100%	消防団の組織を1本部16分団から1本部8分団に改変した。消防団個人装備は左記の通り達成率100%
4 火災予防の充実強化 地域防災力の向上	住宅用火災警報器全戸設置に向け、市内全戸訪問を目標に働きかけを行います。立入検査を継続強化し、違反是正に努めます。 実践的で実効性のある訓練研修体制や避難支援対策など、ソフト施策の充実強化を図ります。	住宅用火災警報器設置率85% 立入検査 事業所120件 危険物施設50件 自主防災会の訓練指導指導件数60件	住宅用火災警報器の戸別訪問実施中。設置率82.4% 立入検査 事業所90件(75%) 危険物施設 32件(64%) 訓練指導 57件(95%)	住宅用火災警報器の個別訪問実施中(7,381戸訪問済み)設置率84.4% 立入検査 事業所124件(100%) 危険物施設34件(68%) 訓練指導 78件(100%)
5 応急手当の普及啓発	救命率向上のため、救急車が到着するまでに的確な救命処置ができる市民を増やすため、ガイドライン変更に伴う普通救命講習受講者を増やします。	普通救命講習受講者数 21年度 320人 22年度 409人 23年度 329人 24年度 400人[目標値]	普通救命講習受講者数 平成24年4月～11月 174人 目標値44%	平成24年度受講者数313人 達成率78.3%